

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2006年8月25日設定）	
運用方針	<p>マザーファンド受益証券への投資を通じて、外国の債券に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざします。当ファンドにおいて「アッパーミドル諸国」とは、先進国と新興国の中間領域に位置する国として委託会社が判断した国とします。アッパーミドル諸国の中から、信用等级がA～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。投資対象とする債券は、当該国通貨建ての国債、政府保証債、政府機関債、地方債および国際機関債とします。ポートフォリオの流動性等を補完するため米国国債に投資することとし、信託財産の10～20%程度を基本資産配分とします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
主要運用対象	ベビーフンド	グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、当ファンドで直接投資することがあります。
	マザーファンド	外国の債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）」およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

グローバル・ボンド・ ニューマーケット （毎月決算型）

愛称：星こよみ



第154期（決算日：2019年8月26日）
 第155期（決算日：2019年9月24日）
 第156期（決算日：2019年10月24日）
 第157期（決算日：2019年11月25日）
 第158期（決算日：2019年12月24日）
 第159期（決算日：2020年1月24日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）」は、去る1月24日に第159期の決算を行いましたので、法令に基づいて第154期～第159期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落			
	円		円		%	%	百万円
130期(2017年8月24日)	4,407		20	△1.5	95.6	—	7,172
131期(2017年9月25日)	4,569		20	4.1	95.2	—	7,315
132期(2017年10月24日)	4,378		20	△3.7	96.1	—	6,894
133期(2017年11月24日)	4,307		20	△1.2	96.2	—	6,691
134期(2017年12月25日)	4,452		20	3.8	94.4	—	6,810
135期(2018年1月24日)	4,578		20	3.3	95.8	—	6,950
136期(2018年2月26日)	4,537		20	△0.5	94.7	—	6,790
137期(2018年3月26日)	4,462		20	△1.2	95.2	—	6,629
138期(2018年4月24日)	4,483		20	0.9	96.3	—	6,603
139期(2018年5月24日)	4,371		20	△2.1	95.9	—	6,373
140期(2018年6月25日)	4,219		20	△3.0	95.7	—	6,069
141期(2018年7月24日)	4,339		20	3.3	95.6	—	6,186
142期(2018年8月24日)	4,242		20	△1.8	95.0	—	5,960
143期(2018年9月25日)	4,256		20	0.8	95.0	—	5,931
144期(2018年10月24日)	4,183		20	△1.2	92.6	—	5,776
145期(2018年11月26日)	4,138		20	△0.6	94.8	—	5,643
146期(2018年12月25日)	4,021		20	△2.3	95.1	—	5,427
147期(2019年1月24日)	4,155		20	3.8	95.3	—	5,582
148期(2019年2月25日)	4,232		20	2.3	95.3	—	5,637
149期(2019年3月25日)	4,174		20	△0.9	95.9	—	5,509
150期(2019年4月24日)	4,268		20	2.7	95.6	—	5,572
151期(2019年5月24日)	4,157		20	△2.1	94.1	—	5,396
152期(2019年6月24日)	4,136		20	△0.0	93.1	—	5,338
153期(2019年7月24日)	4,222		20	2.6	94.5	—	5,432
154期(2019年8月26日)	3,944		20	△6.1	93.5	—	5,039
155期(2019年9月24日)	4,115		20	4.8	93.4	—	5,233
156期(2019年10月24日)	4,200		20	2.6	94.3	—	5,290
157期(2019年11月25日)	4,150		20	△0.7	92.6	—	5,199
158期(2019年12月24日)	4,254		20	3.0	93.6	—	5,280
159期(2020年1月24日)	4,322		10	1.8	92.6	—	5,333

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			騰 落 率	騰 落 率			
第154期	(期 首) 2019年 7月24日	円 4,222	% —		% 94.5		% —
	7月末	4,197	△0.6		94.5		—
	(期 末) 2019年 8月26日	3,964	△6.1		93.5		—
第155期	(期 首) 2019年 8月26日	3,944	—		93.5		—
	8月末	3,994	1.3		93.5		—
	(期 末) 2019年 9月24日	4,135	4.8		93.4		—
第156期	(期 首) 2019年 9月24日	4,115	—		93.4		—
	9月末	4,093	△0.5		93.4		—
	(期 末) 2019年10月24日	4,220	2.6		94.3		—
第157期	(期 首) 2019年10月24日	4,200	—		94.3		—
	10月末	4,167	△0.8		94.2		—
	(期 末) 2019年11月25日	4,170	△0.7		92.6		—
第158期	(期 首) 2019年11月25日	4,150	—		92.6		—
	11月末	4,160	0.2		92.7		—
	(期 末) 2019年12月24日	4,274	3.0		93.6		—
第159期	(期 首) 2019年12月24日	4,254	—		93.6		—
	12月末	4,313	1.4		93.6		—
	(期 末) 2020年 1月24日	4,332	1.8		92.6		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第154期～第159期：2019年7月25日～2020年1月24日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第154期首	4,222円
第159期末	4,322円
既払分配金	110円
騰落率	5.1%
(分配金再投資ベース)	

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ5.1%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の変動要因

上昇要因

債券の利子収益を享受したことや、メキシコの金利が低下したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

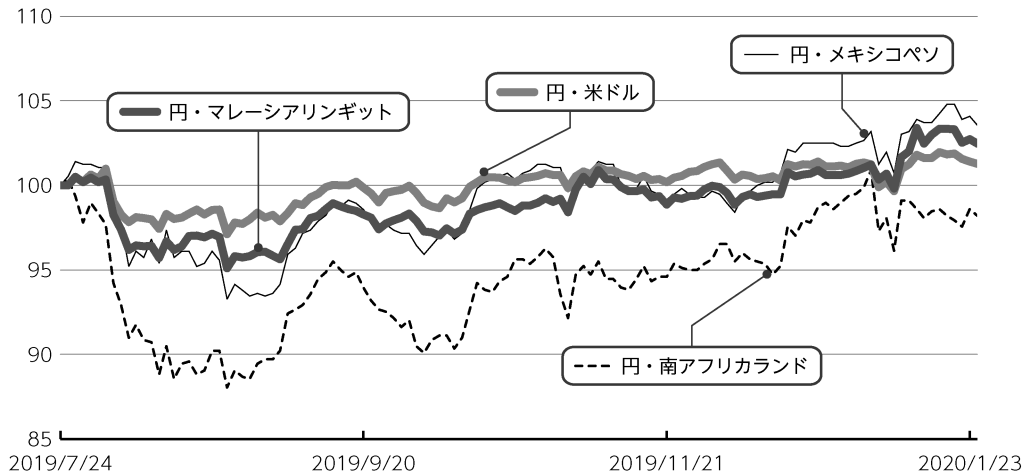
下落要因

南アフリカの金利が上昇したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

第154期～第159期：2019年7月25日～2020年1月24日

投資環境について

為替市況の推移（当作成期首を100として指数化、対円）



▶ 債券市況

投資国の長期金利は、南アフリカを除き、低下しました。

米国の長期金利は、米連邦公開市場委員会（FOMC）で複数回政策金利の誘導目標の引き下げが決定されたことなどにより、低下しました。

メキシコ、マレーシアの長期金利は、米中貿易部分合意が発表されたことや英国の総選挙の結果を受け英国の欧州連合（EU）離脱を巡る不透明感が一部解消されたことを背景にリスクセンチメント

が改善したことなどから、低下しました。南アフリカの長期金利は、同国の格下げに対する懸念などから、上昇しました。

▶ 為替市況

投資国通貨は、南アフリカランドを除き、対円で上昇しました。

南アフリカランド以外の投資国通貨は、リスクセンチメント改善を受けて、対円で上昇しました。南アフリカランドは、同国の格下げに対する懸念などから、対円で下落しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）

グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド受益証券への投資を通じて、アッパーミドル諸国の公社債を中心に投資をしました。

▶ グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド

アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定し、通貨別資産配分は均等を基本に組み入れました。

投資国は、作成期を通じて、米国・南アフリカ・メキシコ・マレーシアの4カ国で運用しました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第154期 2019年7月25日～ 2019年8月26日	第155期 2019年8月27日～ 2019年9月24日	第156期 2019年9月25日～ 2019年10月24日	第157期 2019年10月25日～ 2019年11月25日	第158期 2019年11月26日～ 2019年12月24日	第159期 2019年12月25日～ 2020年1月24日
当期分配金 （対基準価額比率）	20 (0.505%)	20 (0.484%)	20 (0.474%)	20 (0.480%)	20 (0.468%)	10 (0.231%)
当期の収益	16	18	19	17	19	10
当期の収益以外	3	1	0	2	0	－
翌期繰越分配対象額	130	129	128	126	125	136

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）

グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

▶ グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド

アッパーミドル諸国の政府または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得

をめざします。

アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。

アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。

2019年7月25日～2020年1月24日

1万口当たりの費用明細

項目	第154期～第159期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	25	0.605	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(13)	(0.303)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(11)	(0.275)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.014	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.011)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	26	0.619	

作成期中の平均基準価額は、4,157円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

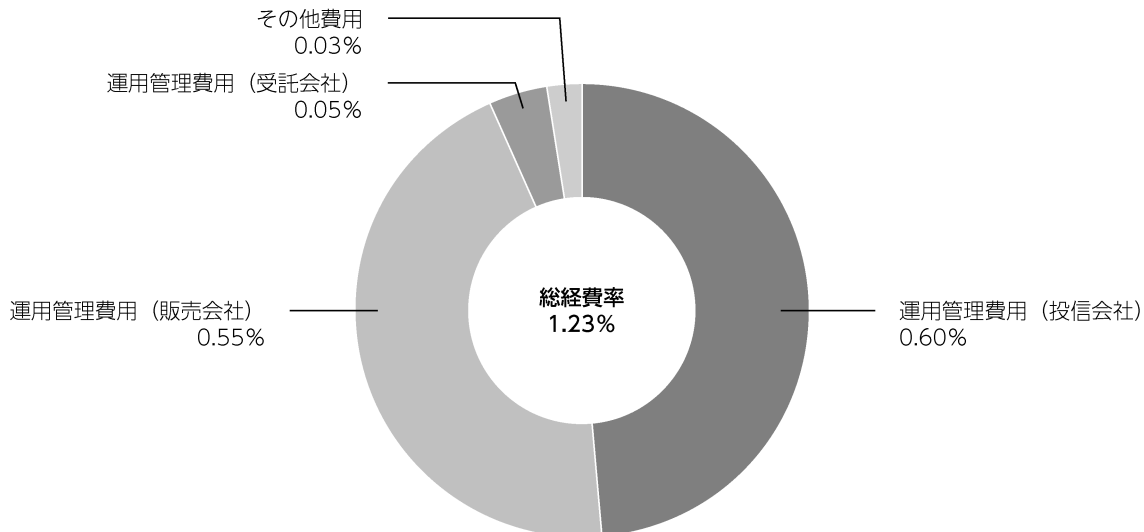
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.23%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2019年7月25日～2020年1月24日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第154期～第159期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド		16,691	21,081	320,868	410,400

○利害関係人との取引状況等

（2019年7月25日～2020年1月24日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2020年1月24日現在）

親投資信託残高

銘	柄	第153期末	第159期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド		4,242,252	3,938,075	5,320,733

○投資信託財産の構成

（2020年1月24日現在）

項 目	第159期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド	5,320,733	99.3
コール・ローン等、その他	34,811	0.7
投資信託財産総額	5,355,544	100.0

(注) グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（5,284,390千円）の投資信託財産総額（5,335,279千円）に対する比率は99.0%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=109.59円	1 メキシコペソ=5.84円	1 マレーシアリングgit=26.92円	1 南アフリカランド=7.63円
------------------	----------------	----------------------	------------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第154期末	第155期末	第156期末	第157期末	第158期末	第159期末
	2019年8月26日現在	2019年9月24日現在	2019年10月24日現在	2019年11月25日現在	2019年12月24日現在	2020年1月24日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	5,077,292,262	5,269,193,140	5,339,935,078	5,232,712,504	5,314,926,677	5,355,544,456
コール・ローン等	17,471,159	16,965,114	17,179,345	17,587,144	17,200,670	20,231,289
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド(附録)	5,027,310,488	5,221,519,809	5,277,966,481	5,187,555,353	5,268,478,265	5,320,733,417
未収入金	32,510,615	30,708,217	44,789,252	27,570,007	29,247,742	14,579,750
(B) 負債	37,722,104	35,326,806	49,239,658	32,907,918	33,928,822	21,867,431
未払収益分配金	25,557,235	25,440,436	25,194,708	25,058,897	24,827,661	12,341,047
未払解約金	6,532,036	4,957,142	18,852,747	2,266,789	4,067,688	4,040,547
未払信託報酬	5,611,391	4,910,462	5,172,455	5,560,994	5,014,309	5,464,972
未払利息	27	26	8	16	27	7
その他未払費用	21,415	18,740	19,740	21,222	19,137	20,858
(C) 純資産総額(A-B)	5,039,570,158	5,233,866,334	5,290,695,420	5,199,804,586	5,280,997,855	5,333,677,025
元本	12,778,617,692	12,720,218,388	12,597,354,356	12,529,448,933	12,413,830,546	12,341,047,158
次期繰越損益金	△ 7,739,047,534	△ 7,486,352,054	△ 7,306,658,936	△ 7,329,644,347	△ 7,132,832,691	△ 7,007,370,133
(D) 受益権総口数	12,778,617,692口	12,720,218,388口	12,597,354,356口	12,529,448,933口	12,413,830,546口	12,341,047,158口
1万口当たり基準価額(C/D)	3,944円	4,115円	4,200円	4,150円	4,254円	4,322円

○損益の状況

項 目	第154期	第155期	第156期	第157期	第158期	第159期
	2019年7月25日～ 2019年8月26日	2019年8月27日～ 2019年9月24日	2019年9月25日～ 2019年10月24日	2019年10月25日～ 2019年11月25日	2019年11月26日～ 2019年12月24日	2019年12月25日～ 2020年1月24日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 760	△ 669	△ 301	△ 604	△ 334	△ 501
受取利息	—	7	21	—	15	—
支払利息	△ 760	△ 676	△ 322	△ 604	△ 349	△ 501
(B) 有価証券売買損益	△ 324,082,272	247,697,027	137,770,793	△ 31,729,654	159,036,236	101,432,779
売買益	1,597,231	248,636,369	138,890,393	174,224	159,847,913	101,945,205
売買損	△ 325,679,503	△ 939,342	△ 1,119,600	△ 31,903,878	△ 811,677	△ 512,426
(C) 信託報酬等	△ 5,632,806	△ 4,929,202	△ 5,192,195	△ 5,582,216	△ 5,033,446	△ 5,485,830
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 329,715,838	242,767,156	132,578,297	△ 37,312,474	154,002,456	95,946,448
(E) 前期繰越損益金	△5,312,321,593	△5,636,009,683	△5,361,191,890	△5,220,549,753	△5,228,886,814	△5,062,757,454
(F) 追加信託差損益金	△2,071,452,868	△2,067,669,091	△2,052,850,635	△2,046,723,223	△2,033,120,672	△2,028,218,080
(配当等相当額)	(154,165,538)	(153,479,896)	(152,011,113)	(151,206,271)	(149,823,494)	(148,958,605)
(売買損益相当額)	(△2,225,618,406)	(△2,221,148,987)	(△2,204,861,748)	(△2,197,929,494)	(△2,182,944,166)	(△2,177,176,685)
(G) 計 (D + E + F)	△7,713,490,299	△7,460,911,618	△7,281,464,228	△7,304,585,450	△7,108,005,030	△6,995,029,086
(H) 収益分配金	△ 25,557,235	△ 25,440,436	△ 25,194,708	△ 25,058,897	△ 24,827,661	△ 12,341,047
次期繰越損益金 (G + H)	△7,739,047,534	△7,486,352,054	△7,306,658,936	△7,329,644,347	△7,132,832,691	△7,007,370,133
追加信託差損益金	△2,071,452,868	△2,067,669,091	△2,052,850,635	△2,046,723,223	△2,033,120,672	△2,028,218,080
(配当等相当額)	(154,171,301)	(153,482,980)	(152,015,907)	(151,211,891)	(149,827,933)	(148,973,325)
(売買損益相当額)	(△2,225,624,169)	(△2,221,152,071)	(△2,204,866,542)	(△2,197,935,114)	(△2,182,948,605)	(△2,177,191,405)
分配準備積立金	13,112,350	11,124,403	10,407,189	6,924,032	6,580,806	19,290,297
繰越損益金	△5,680,707,016	△5,429,807,366	△5,264,215,490	△5,289,845,156	△5,106,292,825	△4,998,442,350

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 作成期首（前作成期末）元本額 12,868,329,654円
 作成期中追加設定元本額 78,725,494円
 作成期中一部解約元本額 606,007,990円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.4322円です。

② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は7,007,370,133円です。

③ 分配金の計算過程

項 目	2019年7月25日～ 2019年8月26日	2019年8月27日～ 2019年9月24日	2019年9月25日～ 2019年10月24日	2019年10月25日～ 2019年11月25日	2019年11月26日～ 2019年12月24日	2019年12月25日～ 2020年1月24日
費用控除後の配当等収益額	21,670,641円	23,525,564円	24,595,524円	21,641,619円	24,555,255円	25,098,224円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	154,171,301円	153,482,980円	152,015,907円	151,211,891円	149,827,933円	148,973,325円
分配準備積立金額	16,998,944円	13,039,275円	11,006,373円	10,341,310円	6,853,212円	6,533,120円
当ファンドの分配対象収益額	192,840,886円	190,047,819円	187,617,804円	183,194,820円	181,236,400円	180,604,669円
1万口当たり収益分配対象額	150円	149円	148円	146円	145円	146円
1万口当たり分配金額	20円	20円	20円	20円	20円	10円
収益分配金金額	25,557,235円	25,440,436円	25,194,708円	25,058,897円	24,827,661円	12,341,047円

○分配金のお知らせ

	第154期	第155期	第156期	第157期	第158期	第159期
1万口当たり分配金（税込み）	20円	20円	20円	20円	20円	10円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・2020年1月1日以降の分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド

《第13期》決算日2019年7月24日

[計算期間：2018年7月25日～2019年7月24日]

「グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド」は、7月24日に第13期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第13期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	<p>アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し安定した利子収益の獲得をめざします。当ファンドにおいて「アッパーミドル諸国」とは、先進国と新興国の中間領域に位置する国として委託会社が判断した国とします。アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。投資対象とする債券は、当該国通貨建ての国債、政府保証債、政府機関債、地方債および国際機関債とします。ポートフォリオの流動性等を補完するため米国国債に投資することとし、信託財産の10～20%程度を基本資産配分とします。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主 要 運 用 対 象	外国の債券を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
9期(2015年7月24日)	13,211		1.2	97.5	—	13,920
10期(2016年7月25日)	10,612	△	19.7	97.5	—	8,680
11期(2017年7月24日)	11,878		11.9	96.1	—	7,365
12期(2018年7月24日)	12,251		3.1	95.8	—	6,171
13期(2019年7月24日)	12,775		4.3	94.8	—	5,419

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
(期 首) 2018年7月24日	円 12,251	% —	% 95.8	% —	% —
7月末	12,448	1.6	95.9	—	—
8月末	11,873	△3.1	95.3	—	—
9月末	12,341	0.7	95.3	—	—
10月末	11,776	△3.9	95.6	—	—
11月末	12,092	△1.3	95.5	—	—
12月末	11,882	△3.0	95.2	—	—
2019年1月末	12,302	0.4	95.6	—	—
2月末	12,494	2.0	95.6	—	—
3月末	12,428	1.4	96.1	—	—
4月末	12,580	2.7	93.9	—	—
5月末	12,231	△0.2	94.2	—	—
6月末	12,521	2.2	94.4	—	—
(期 末) 2019年7月24日	円 12,775	% 4.3	% 94.8	% —	% —

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価格は期首に比べ4.3%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

債券の利子収益を享受したことや、南アフリカ、マレーシア、メキシコの金利が低下したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

投資国通貨が対円で下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎債券市況

- ・米国・南アフリカ・メキシコ・マレーシアの長期金利は低下しました。
- ・期首から2018年11月中旬にかけて、米国で発表された経済指標が堅調であったことや、同国の利上げ観測が高まったことなどを背景に、投資国の長期金利は上昇基調で推移しました。

- ・12月以降は米国の利上げ観測が後退し、2019年6月中旬に開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）で不確実性の増大などに対応するため年内の利下げが示唆されたことなどから投資国の長期金利は低下しました。
- ・結果、期を通じてみると、投資国の長期金利は低下して終わりました。

◎為替市況

- ・米ドル・マレーシアリングgit・南アフリカランド・メキシコペソは対円で下落しました。
- ・2018年12月上旬以降、米国金利低下による日米の金利差縮小や12月から2019年年初の投資家のリスク回避的な姿勢の高まり、5月以降の米中貿易摩擦の再燃などによる世界経済の減速懸念などを背景に投資国通貨は対円で下落しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定し、通貨別資産配分は均等を基本に組み入れました。
- ・投資国は、期を通じて、米国・南アフリカ・メキシコ・マレーシアの4カ国で運用しました。

○今後の運用方針

- ・アッパーミドル諸国の政府または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざします。
- ・アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。
- ・アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年7月25日～2019年7月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	3	0.025	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(3)	(0.025)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	(0)	(0.000)	
期中の平均基準価額は、12,248円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2018年7月25日～2019年7月24日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外	アメリカ	国債証券	千アメリカドル 1,952	千アメリカドル 3,959
	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 117,975	千メキシコペソ 148,801
国	マレーシア	国債証券	千マレーシアリングギット 19,032	千マレーシアリングギット 26,878
	南アフリカ	国債証券	千南アフリカランド 43,415	千南アフリカランド 48,018

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2018年7月25日～2019年7月24日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	141	56	39.7	1,156	336	29.1

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2019年7月24日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 3,950	千アメリカドル 4,209	千円 455,474	% 8.4	% —	% 3.4	% 5.0	% —
メキシコ	千メキシコペソ 279,000	千メキシコペソ 279,836	1,578,276	29.1	—	17.5	7.1	4.5
マレーシア	千マレーシアリングギット 57,700	千マレーシアリングギット 59,430	1,561,242	28.8	—	17.2	11.6	—
南アフリカ	千南アフリカランド 245,100	千南アフリカランド 198,347	1,541,161	28.4	—	24.4	2.5	1.5
合 計	—	—	5,136,154	94.8	—	62.5	26.2	6.1

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘	柄	利 率	額面金額	期 末		償還年月日
				評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ	国債証券	1.75 T-NOTE 220515	2,500	千アメリカドル	千アメリカドル	千円
		2.25 T-NOTE 270815	400			
		3 T-BOND 420515	300			
		4.5 T-BOND 360215	750			
		小 計				455,474
メキシコ	国債証券	5.75 MEXICAN BONO 260305	23,000	千メキシコペソ	千メキシコペソ	
		6.5 MEXICAN BONOS 220609	15,000			
		7.5 MEXICAN BONOS 270603	40,500			
		7.75 MEXICAN BONO 310529	25,000			
		7.75 MEXICAN BONO 421113	54,000			
		8 MEXICAN BONOS 200611	43,500			
		8 MEXICAN BONOS 231207	52,000			
		8.5 MEXICAN BONOS 381118	26,000			
		小 計				1,578,276
マレーシア	国債証券	3.757 MALAYSIAGOV 230420	8,000	千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット	
		3.899 MALAYSIAGOV 271116	14,500			
		3.955 MALAYSIAGOV 250915	10,000			
		4.048 MALAYSIA 210930	15,500			
		4.498 MALAYSIAGOV 300415	5,000			
		4.893 MALAYSIAGOV 380608	4,700			
		小 計				1,561,242
南アフリカ	国債証券	10.5 SOUTH AFRICA 261221	29,000	千南アフリカランド	千南アフリカランド	
		6.25 SOUTH AFRICA 360331	69,000			
		6.5 SOUTH AFRICA 410228	119,000			
		7.25 SOUTH AFRICA 200115	10,600			
		7.75 SOUTH AFRICA 230228	17,500			
小 計				1,541,161		
合 計				5,136,154		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2019年7月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 5,136,154	% 94.3
コール・ローン等、その他	311,598	5.7
投資信託財産総額	5,447,752	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (5,346,999千円) の投資信託財産総額 (5,447,752千円) に対する比率は98.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=108.21円	1 メキシコペソ=5.64円	1 マレーシアリングギット=26.27円	1 南アフリカランド=7.77円
------------------	----------------	----------------------	------------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年7月24日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	5,447,752,864
コール・ローン等	235,861,353
公社債(評価額)	5,136,154,232
未収利息	72,973,446
前払費用	2,763,833
(B) 負債	28,233,133
未払解約金	28,232,687
未払利息	212
その他未払費用	234
(C) 純資産総額(A-B)	5,419,519,731
元本	4,242,252,305
次期繰越損益金	1,177,267,426
(D) 受益権総口数	4,242,252,305口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,775円

<注記事項>

①期首元本額 5,037,889,576円
 期中追加設定元本額 26,387,464円
 期中一部解約元本額 822,024,735円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.2775円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

グローバル・ボンド・ニューマーケット(毎月決算型) 4,242,252,305円

○損益の状況

(2018年7月25日～2019年7月24日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	345,021,136
受取利息	345,062,147
支払利息	△ 41,011
(B) 有価証券売買損益	△ 122,895,233
売買益	129,750,655
売買損	△ 252,645,888
(C) 保管費用等	△ 1,414,910
(D) 当期損益金(A+B+C)	220,710,993
(E) 前期繰越損益金	1,134,047,470
(F) 追加信託差損益金	5,928,084
(G) 解約差損益金	△ 183,419,121
(H) 計(D+E+F+G)	1,177,267,426
次期繰越損益金(H)	1,177,267,426

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。